

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 川下 勉

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
1 (1)	<p>加賀市ビジョンの策定について 加賀市ビジョン策定の経緯と位置づけについて</p> <p>6月補正予算に(仮称)加賀市ビジョン策定事業費 1,000万円が計上された。先の3月定例会で同僚議員(山口議員)に「総合計画は廃止の方向とする」と答弁したことから、これまでの総合計画に相当する中長期を見通したビジョンであると理解するが、加賀市ビジョンはどのような経緯を経て、どのような位置づけのものとして策定することとなったのかを尋ねる。</p>	
(2)	<p>加賀市ビジョンの内容について</p> <p>当局は、これまでの答弁で、現在の総合計画のデメリットとして、「10年の計画期間は時代の変化や住民ニーズの多様化に対応できない」、「策定後に形骸化しやすい」、「時間消費や費用負担が大きい」ことを挙げ、廃止によるメリットとして「柔軟性と迅速性を高め、より効果的なまちづくりが実現できる」、「財政負担の軽減」を掲げてきており、加賀市ビジョンは総合計画のデメリットを解消し、廃止のメリットを実現するものであるべきと考える。</p> <p>このような観点から加賀市ビジョンをどのような内容とする予定であるのか。例えば、何年スパンとするのか、どのような構成とするのか、総合計画のように策定委員会を何度も開いて、策定や更新に費用と時間をかけることになるのかといった点について示せ。</p>	
2 (1)	<p>病院事業決算と経営改善の実行状況について 令和6年度決算について</p> <p>3月定例会で、病院事業会計の債務超過という危機的状況を指摘したところだが、令和6年度決算状況は前年度、また予算と比較してどうか。危機的状況に改善の兆しはあるか。今後の見通しについて示せ。</p>	
(2)	<p>経営改善の実施状況について</p> <p>経営改善の取組は、具体的なアクションとスピード感が大切である。3月定例会の病院事業管理者の答弁から既に四半期が経過した。病院事業管理者が答弁された「職員が経営意識を持つ全体研修」、「地域医療機関からの紹介受診患者を増やす」、「病床の稼働率を上げる」、「材料費の縮減を図る」、また私が提案した「外部有識者を交えた対策チーム」それぞれの具体的な実施状況と改善内容を示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 川下 勉

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
3	(1)	<p>加賀高校の魅力向上と動橋駅再生について 今月9日の連携協定について 今月9日に行った加賀高校、法政大学理工学部、加賀市との包括連携協定の内容と、協定により加賀高校の生徒にどんなメリットがもたらされるのか、また市として、そのメリットを何に活かそうとしているのか示せ。</p>	
	(2)	<p>動橋駅再生との相乗戦略について 動橋駅の活性化について、様々な取組を重ねてきているが、現状、決定打が出ていないように思われる。このタイミングで加賀高校の魅力を底上げするような包括連携協定が実現したことを活かして、動橋駅再生との相乗戦略をとることができないか。昨年12月定例会で同僚議員（東野議員）の動橋駅再生に関する質問答弁で、宮元市長も動橋駅再生と加賀高校の魅力化を関連付けて答弁しておられたことから、あらためて所見を問う。</p>	
4		<p>新教育長の取組方針について 島谷前教育長に引き続いて文部科学省から出向された松本教育長に、前教育長が加賀市学校教育ビジョン「BE THE PLAYER」で改革の形を作り上げた加賀市の学校教育改革を、どのように継承・推進しようとしているか具体的に尋ねる。またその中で、松本カラーとでもいうべき独自性を出そうとしているのであれば、併せて、このことについても尋ねる。</p>	
5	(1)	<p>エンジン01 in 加賀温泉について 具体的な事業内容について 新聞に大きな広告が掲載され、提案理由説明でも詳しい説明があり、市の力の入れ具合を感じる。講座の内容や講師は調整中と聞くが、昨年秋の和歌山県有田市では、3日間で約140の講座に130人の文化人が出演され、参加者は延べ12,000人を数えたと聞いている。来月中旬の内容発表に向け、おおむねその姿が見えてきていると思うので、現時点での講座や講師の概要、会場割などについて尋ねる。</p>	
	(2)	<p>イベントの盛り上げ方と周知について これほどの規模のイベントをより成果のあるものにするため、開催前からの盛り上げと広範囲への周知が必要であると考え。最大の効果が得られるように、どのような体制で盛り上げ、周知を図る予定であるのかを尋ねる。</p>	

発言通告書要旨 (3枚目/全3枚)

氏名 川下 勉

発言番号		発言事項及び発言要旨	備考
6	(1)	<p>観光入込客状況と今後の戦略について 北陸新幹線加賀温泉駅開業後1年余の観光客入込状況の総括について</p> <p>昨年3月の北陸新幹線加賀温泉駅開業後の観光客入込状況についてどのような状況であるのか総括されたい。開業後1年余を経過し、特に開業前と異なる傾向があればどのように分析しているのか示せ。</p>	
	(2)	<p>観光地再生のためのアクションと次なる観光戦略プランについて</p> <p>加賀温泉郷観光地再生キックオフ式を実施し、観光消費額1,000億円、観光客数400万人という目標を掲げたが、これに向けての具体的なアクションについて尋ねる。また、加賀市としての、体系的な次の観光戦略プランの策定についてどのように考えているのかについても尋ねる。</p>	